

新年のごあいさつ

New Year's greetings 2021




明 けましておめでとうござい
ます。

村民の皆様におかれましては、穏やかな令和3年の新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より村政運営に對しご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、1月16日に、中国武漢市に滞在歴がある帰国者から、国内初となる新型コロナウイルスの感染が確認されたのを皮切りに、2月には横浜港に寄港した「ダイヤモンドプリンセス号」での集団感染などが、連日テレビのニュースで取り上げられました。これにより、海外のみならず国内でもこの未知のウイルスとの戦いに明け暮れることとなりました。北海道では外出自粛が求められ、東京デイズニールランドが異例の休園となる中、政府の要請により全国の学校が臨時休校となりました。本村の小中学校でも、校舎に子どもたちの姿がなく静まりかえった日々が続きました。感染拡大がますます深刻さを増していく中、ついには、56年ぶりに開催されるはずであった東京オリンピックの延期が決定されました。

4月に入ると、政府から緊急事態宣言が発令され、経済活動は停止を余儀なくされました。そんな中、村は政府の緊急経済対策である特別定額給付金をいち早く村民の皆様にお届けし、品切れをおこなしていたマスクを全世帯に配布しました。全児童生徒には、学校再開時にマスクを配布し消毒液を用意するなど感染防止策を講じ、子育て世帯やコロナ禍で影響を受けた事業者には村独自の支援を続けてきました。

緊急事態宣言は5月に解除され、ここから経済の立て直しが始まると思われましたが、8月には全世界で感染者が2000万人を超え、世界各地で11月に再びロックダウンの措置が取られる事態となりました。こうした状況により、村の大切な行事である「河



岸段丘「フマラソン」や「村民運動会」「昭和の秋まつり」などが全て中止に追い込まれ、今後の活動にあたり「ウィズコロナ」や、コロナウイルスと共存する「新しい生活様式」を意識しなければならなくなりました。世界的には、12月から新型コロナウイルスに対するワクチン接種が始まったことから、今後の感染拡大防止に歯止めがかかることが期待されるようです。

さて、コロナ禍での1年を過ごした昭和村ですが、感染症対策に対する支援策だけでなく、災害に備え、各避難所に備蓄する防災用品を購入するとともに、新たに防災マップの更新作業も進めており、年度末には皆様に概要版をお配りできる予定です。また、総合運動公園内のテニスコートの整備や、グラウンドゴルフ場の大幅な改修工事、道の駅「あぐりーむ昭和」では、駐車場の増設工事を行っております。新庁舎建設につきましては基本設計が完了し、現在、実施設計に入っております。懸案となっていた、来庁される方の駐車場を確保するため、近隣の方のご協力を得て公用車駐車場を信号のある交差点の東側に隣接する形で整備することになりました。この工事は、新庁舎の建替工事に先行し、今月から開始していきたいと考えております。

最後になりますが、昨年5月から昭和村長として3期目の舵取りをさせていただいている中で、村民の皆様にお約束した5つの約束、「生活しやすい」「暮らしやすい」「仕事がしやすい」「子育てしやすい」「活動しやすい」村づくりを、第5次総合計画の後期計画と合わせ継続していきます。皆様とともに新型コロナウイルスを乗り越え、笑顔がこだまする昭和村が戻りますよう、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

結びに、村民の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

昭和村長 堤 盛吉